

【 ◎：現地展開可能 ○：引き続き検証(熟度に応じ現地展開) -：非選定 】

テーマ	No.	提案技術	技術の概要	検証場所	評価	設置箇所	課題等
テーマⅠ	1	ウェッジハンブ	舗装面にくさび型の非対称の段差(ウェッジハンブ)を設置し、衝撃により逆走車両に注意喚起するもの。	・沖縄道 伊芸SA(下)	○	管理用道路 【設置箇所限定】	段差構造のため一般部には適用が難しい
	2	防眩板応用注意喚起	中央分離帯に設置する防眩板を十字型形状にし「逆走中」等の文字を表示し、逆走車両へ注意喚起するもの。	・圏央道 福川加納IC付近	◎	本線	
	3	LED発光体付ラバーポールウィングサイン	既存のラバーポールに順走方向を示す文字・矢印を大きく表示するカバーをつけることで、逆走車両への未だの注意喚起を行うもの。	・中国道 赤松PA(上下) ・舞若道 上荒川PA(上)	◎	本線合流部 ランプ合流部	
	4	路面埋込型ブレード	路面に設置した突起物により逆走車両に衝撃を与え注意喚起するもの。突起物は順走時には路面下に沈み込む。	・山陽道 福山東IC ※管理用道路内	○	管理用道路 【設置箇所限定】	段差構造のため一般部には適用が難しい
	5	電光表示による逆走警告	逆走車両を検知するレーダー(マイクロ波センサー)と一体となった警告表示装置で逆走車両に注意喚起を行うもの。	・徳島道 池田PA(下)	◎	ランプ	
	6	錯視効果を応用した路面標示	立体的に見えるよう描かれた路面標示を施工し、逆走車両へ注意喚起するもの。	・新名神 甲南PA(下) ・名神 瀬田西IC(上)	◎	本線 ランプ 料金所プラザ	
	7	プレッシャーウォール	圧迫感を与える程度に大きい表示板を路側に連続設置し、逆走車両へ注意喚起するもの。	・高松道 豊浜SA(上)	◎	ランプ	
	9	開口部ボラード	料金所前後の通行分離帯の開口部をボラードで閉塞するもの。	・中国道 三次IC ※管理用道路内	○	料金所前後の 開口部	開口部等の締切対策として必要箇所に適用
	11	エアバルーンによる逆走警告	センサーカメラにより逆走車両を検知し、空気による膨張式の遮断機を展開し、注意喚起(および車両停止)を行うもの。	・提案企業の 自社試験走路	○	ランプ 管理用道路	関係機関協議及び現地に合わせた仕様の検討が必要
	12	オーロラビジョン	ランプ等カーブした道路線形に表示板形状を追従できるフルカラー自発光方式の表示板により、逆走車両へ注意喚起するもの。順走車両の誘導も可能。	・長崎道 諫早IC	○	ランプ 平面Y型IC交差部	相対的に高価
	14	リバーシブル注意喚起板	壁高欄に山型形状の反射板を貼り、「逆走中」等の文字を表示し、逆走車両へ注意喚起するもの。順走車両からは視認できない。	・高松道 高松中央IC	◎	本線 ランプ	
	10	空中浮遊映像表示による逆走警告	路側又は路面に設置したディスプレイの映像を特殊パネルを用いて運転者の目の前に映し出し、逆走車両への注意喚起を行うもの。	・長崎道 大村IC	-	-	浮遊箇所・大きさ・視認性について実用の域に達していない
	13	路面標示ゴムマット	逆走時のみ表示内容が視認できるゴムマットを路面上に設置し、逆走車両へ注意喚起するもの。	・徳島道 阿波PA(上)	-	-	除雪車により容易に剥がれる
8	空気式停止バーによる逆走警告	超音波センサーにより逆走車両を検知し、空気による膨張式の停止バーを作動させ、逆走車両への注意喚起(及び車両停止)を行うもの	-	-	-	辞退	
テーマⅡ	15	準ミリ波レーダーによる逆走検知	準ミリ波レーダーを用い、対象車両の距離、角度、速度を解析し、逆走車両を検知するもの。	【非積雪地】 圏央道 菖蒲PA(外回り) 【積雪地】 山形道 山形蔵王PA	○	ランプ	表示部及び現地に合わせた仕様の検討が必要
	16	マイクロ波センサーによる逆走検知	マイクロ波センサーを用い、対象車両の距離、角度、速度を解析し、逆走車両を検知するもの。		○	ランプ	表示部及び現地に合わせた仕様の検討が必要
	18	3Dステレオカメラを活用した画像解析技術による逆走検知	3Dステレオカメラによる画像を解析し車両の移動方向を判別して逆走車両を検知するもの。		○	ランプ	表示部及び現地に合わせた仕様の検討が必要
	21	ドップラーレーダーによる物体検知	79GHz帯のドップラーレーダーを用い、対象車両の距離、角度、速度を解析し、逆走車両を検知するもの。		○	ランプ	表示部及び現地に合わせた仕様の検討が必要
	17	レーザーセンサーによる逆走検知	レーザー光を面的に照射し、車両の位置、方向を特定し、逆走車両を検知するもの。		-	-	検知精度に課題
	19	高解像度カメラの画像処理技術による逆走検知	高解像度カメラにより撮影した画像を処理、解析して逆走車両を検知するもの。		-	-	検知精度に課題
	20	近赤外線LED照明付カメラの画像処理技術による逆走検知	近赤外線LED照明付カメラにより撮影した画像を処理、解析して逆走車両を検知するもの。		-	-	検知精度に課題
	22	ナンバープレート認識カメラ・車両撮影用カメラによる逆走検知	ナンバープレート認識カメラと車両撮影用カメラを使用し、方向別車両検知により逆走車両を検知するもの。		-	-	検知精度に課題
	23	赤外線サーマルカメラの画像処理技術による逆走検知	赤外線サーマルカメラの画像を解析し、逆走車両を検知するもの。		-	-	検知精度に課題
テーマⅢ	25	ETC2.0車載器による逆走情報即時提供	ITSスポットにより、ETC2.0車載器を搭載した車両に対して、車両の走行方向を判定し、逆走車両のみに適用される警告情報を配信し、警告するもの。	・新東名 清水PA	◎	ランプ	
	26	Bluetoothビーコン発信電波による逆走警告	電波(Bluetooth)ビーコンを設置し方位信号を送信、情報を受信したスマートフォンは自動車進行方位と比較し逆走時に警告するもの。	・小田原厚木道路 大磯PA(上)	○	ランプ	サービス展開手法に課題あり
	28	マルチメディア放送による順走車向け逆走警告	検知した逆走車両の情報をドライバー向け専用チャンネルで、逆走車両とそのエリアを走行中の順走車両に伝えるもの。	・東名 東京～奏野中井	○	本線	提供エリアが放送対象地域に限定
	24	ETC2.0車載器による蓄積型逆走情報提供	ETC2.0車載器を搭載した車両に対して、逆走車両のみに適用される警告情報を配信、車載器により走行方向を判定し、逆走時に警告するもの。	・新東名 駿河湾沼津SA	-	-	一部の車載器で蓄積された逆走警告情報が所定の位置で表示されない
	27	ETC2.0車載器による逆走警告	ITSスポットにより、ETC2.0車載器を活用し情報提供方位を定めて、逆走車両に警告するもの(順走車両への注意喚起も実施)	・国土交通省の 試験走路	-	-	一部の車載器ではマップマッチング機能により、逆走警告情報が表示されない